【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2015-122759(P2015-122759A)
【公開日】平成27年7月2日(2015.7.2)
【年通号数】公開・登録公報2015-042
【出願番号】特願2015-11389(P2015-11389)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　48/08　　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　48/08

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月2日(2015.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ワイヤレス通信の方法であって、
ワイヤレス信号を送信している基地局（ＢＳ）以外のＢＳのため確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立すること、
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信すること、ここにおいて、前記確保されたリソースを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを識別する、及び
前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキングする、または、送信すること、
を備える方法。
【請求項２】
前記確保されたリソース上に低減された電力で送信することを備える、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記送信しているＢＳとは異なるアクセスタイプ、送信電力タイプ、または再使用タイプのＢＳのために前記信号リソースを確保することをさらに備える、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記確保されたリソースを明示的に識別するビットマップを前記ワイヤレス信号に含めることをさらに備える、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記送信された情報は、前記確保されたリソースが備えられるタイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドの数を備え、ここで、前記数は、前記タイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドを暗示的に識別する、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記確保されたリソースを前記ワイヤレス信号のプリアンブルの部分としてスケジュールすることをさらに備える、請求項１に記載の方法。
【請求項７】

前記送信しているＢＳによって使用可能な前記ワイヤレス信号のインターレース上に前記プリアンブルをスケジュールすることをさらに備える、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記使用可能なインターレースのその後の時間フレーム上に前記プリアンブルに関連するその後のハイブリッド自動繰り返し要求（ＨＡＲＱ）送信をスケジュールすることをさらに備える、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記使用可能なインターレースの２つの時間フレームをグループ化することをさらに備え、ここで、前記グループ化されたフレームのための指定（assignment）データまたは承認（acknowledgement）データをスケジュールするために、リソースの共通のセットが利用される、請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
前記送信しているＢＳの別個のタイプを識別すること、または
少なくとも前記送信しているＢＳに最も近いマクロＢＳの捕捉領域内で一意である、前記送信しているＢＳの別個のセクタＩＤを識別すること、
の少なくとも一方を行う情報を前記プリアンブル内に含めることをさらに備える、請求項６に記載の方法。
【請求項１１】
前記プリアンブルの送信において低リソース再使用を用いることをさらに備える、請求項６に記載の方法。
【請求項１２】
ワイヤレス通信のための装置であって、
ワイヤレス信号を送信している基地局（ＢＳ）以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立する通信プロセッサ、
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信するメッセージ構造モジュール、ここにおいて、前記確保されたリソースを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを識別し、前記送信しているＢＳは前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキングする、または、送信する、及び
前記通信プロセッサに結合されたメモリ、
を備える装置。
【請求項１３】
前記送信しているＢＳは、前記確保されたリソース上に低減された電力で送信する、請求項１２に記載の装置。
【請求項１４】
前記リソースが確保される前記ＢＳは、前記送信しているＢＳとは異なるアクセスタイプ、送信電力タイプ、または再使用タイプである、請求項１２に記載の装置。
【請求項１５】
前記メッセージ構造モジュールは、前記ワイヤレス信号の前記確保されたリソースを明示的に識別するビットマップを前記ワイヤレス信号に含める請求項１２に記載の装置。
【請求項１６】
前記メッセージ構造モジュールは、前記確保されたリソースが備えられるタイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドの数を前記プリアンブル内で示し、ここで、前記数は、前記タイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドを暗示的に識別する、請求項１２に記載の装置。
【請求項１７】
前記メッセージ構造モジュールは、前記確保されたリソースを識別するデータを前記ワイヤレス信号のプリアンブルの部分としてスケジュールする、請求項１２に記載の装置。
【請求項１８】
前記メッセージ構造モジュールは、前記送信しているＢＳによって使用可能な前記ワイ

ヤレス信号のインターレース上に前記プリアンブルをスケジュールする、請求項１７に記載の装置。
【請求項１９】
前記メッセージ構造モジュールは、前記使用可能なインターレースのその後の時間フレーム上に前記プリアンブルに関連するその後のＨＡＲＱ送信をスケジュールする、請求項１７に記載の装置。
【請求項２０】
前記メッセージ構造モジュールは、前記使用可能なインターレースの２つの時間フレームをグループ化し、ここで、前記グループ化されたフレームのための指定データまたは承認データをスケジュールするために、リソースの共通のセットが利用される、請求項１７に記載の装置。
【請求項２１】
前記メッセージ構造モジュールは、
前記送信しているＢＳの別個のタイプを識別すること、または
少なくとも前記送信しているＢＳに最も近いマクロＢＳの捕捉領域内で一意である、前記送信しているＢＳの別個のセクタＩＤを識別すること、
の少なくとも一方を行う情報を前記プリアンブル内に含める、請求項１７に記載の装置。
【請求項２２】
前記メッセージ構造モジュールは、低リソース再使用を用いて前記プリアンブルを送信する、請求項１７に記載の装置。
【請求項２３】
ワイヤレス通信のための装置であって、
ワイヤレス信号を送信している基地局（ＢＳ）以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立するための手段、
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信するための手段、ここにおいて、前記確保されたリソースを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを識別する、及び
前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキングする、または、送信するための手段、
を備える装置。
【請求項２４】
ワイヤレス通信用に構成された少なくとも１つのプロセッサであって、
ワイヤレス信号を送信しているＢＳ以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立するように構成された第１のモジュール、及び
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信することを前記送信しているＢＳに行わせるように構成された第２のモジュール、ここにおいて、前記確保されたリソースを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを識別し、
前記送信しているＢＳは、前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキングする、または、送信する、
を備える少なくとも１つのプロセッサ。
【請求項２５】
ワイヤレス信号を送信しているＢＳ以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立することをコンピュータに行わせるためのコードの第１のセット、及び
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信することを前記送信しているＢＳに行わせることを前記コンピュータに行わせるためのコードの第２のセット、ここにおいて、前記確保されたリソースを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを識別し、
前記送信しているＢＳは、前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキング

する、または、送信する、

を備えるコンピュータプログラム。
【請求項２６】
ワイヤレス通信を可能にするための方法であって、
ワイヤレスアクセスネットワーク（ＡＮ）の非サービングセクタからワイヤレス信号を取得すること、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンすること、及び
前記システムデータから基地局（ＢＳ）の特定のタイプのために確保された前記ワイヤレス信号内のリソースのセットを識別する情報を抽出すること、ここにおいて、前記確保されたリソースのセットを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信したＢＳのタイプを識別し、
前記確保されたリソースは、低減された電力でブランキングされる、または、送信される、
を備える方法。
【請求項２７】
ＢＳの前記特定のタイプは、
特定のアクセスタイプ、
特定の再使用タイプ、または
特定の送信電力、
の少なくとも一つである、請求項２６に記載の方法。
【請求項２８】
前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを決定することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項２９】
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳの前記タイプと合う場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを分析すること、または
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳの前記タイプと合わない場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを無視すること、
の少なくとも一方をさらに備える、請求項２８に記載の方法。
【請求項３０】
第１のＢＳによって送信された前記確保されたリソースのセットを第２のＢＳへ報告することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３１】
前記確保されたリソースのセット上のチャネル品質を計算し、ＢＳへ前記チャネル品質を報告することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３２】
前記非サービングセクタから著しい干渉を受ける第２のセクタによって送信されたデータのために、前記確保されたリソースのセットを使用することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３３】
前記情報を抽出することは、前記非サービングセクタのプリアンブルを復調することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３４】
前記情報を抽出することは、低再使用システムデータまたは前記非サービングセクタの低再使用プリアンブルを復調することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３５】
前記特定のタイプのＢＳに対してハンドオフすること、及び、少なくとも部分的にそのようなＢＳと通信するために前記リソースのセットを使用することをさらに備える、請求

項２６に記載の方法。
【請求項３６】
前記リソースのセットを識別することは、
前記リソースのセットを明示的に指定するビットマップを前記ワイヤレス信号から抽出すること、または
前記リソースを暗示的に識別する、そのようなリソースの数を前記ワイヤレス信号から取得すること、
の少なくともと一方をさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３７】
隣接するセクタへのハンドオフ、または、隣接セクタとの干渉回避を可能にするためのものであって、少なくとも前記非サービングセクタに最も近いマクロセルの捕捉領域内で一意である、前記セクタの別個のＩＤ、または、
前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳの別個のタイプ、
の少なくとも一方を前記ワイヤレス信号から抽出することをさらに備える、請求項２６に記載の方法。
【請求項３８】
ワイヤレス通信を可能にするための装置であって、
ワイヤレスアクセスネットワーク（ＡＮ）の非サービングセクタからワイヤレス信号を取得する受信機と、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンし、前記システムデータから基地局（ＢＳ）の特定のタイプのために確保された前記ワイヤレス信号内のリソースのセットを識別する情報を抽出するデータプロセッサと、ここにおいて、前記確保されたリソースのセットを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信したＢＳのタイプを識別し、
前記確保されたリソースは、低減された電力でブランキングされる、または、送信される、
を備える装置。
【請求項３９】
ＢＳの前記特定のタイプは、
特定のアクセスタイプ、
特定の再使用タイプ、または
特定の送信電力、
の少なくとも一つである、請求項３８に記載の装置。
【請求項４０】
前記データプロセッサは、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを決定し、そのＢＳタイプと前記ＢＳの特定のタイプとを比較する、請求項３８に記載の装置。
【請求項４１】
前記データプロセッサは、
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳのタイプと合う場合には、前記リソースのセットで送信されたデータにアクセスし、または
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳのタイプと合わない場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを無視する、
ことの少なくとも一方を行う、請求項４０に記載の装置。
【請求項４２】
前記受信機は、前記非サービングセクタから著しい干渉を受ける第２のセクタによって送信されたデータのために、前記確保されたリソースのセットを使用する、請求項３８に記載の装置。
【請求項４３】
前記干渉の程度に基づいて、前記非サービングセクタとの干渉回避を起こす品質モジュールをさらに備える、請求項４２に記載の装置。

【請求項４４】
前記データプロセッサは、前記情報を抽出するために低再使用システムデータを、または、前記情報を抽出するために低再使用プリアンブルを、復調する、請求項３８に記載の装置。
【請求項４５】
前記データプロセッサは、前記システムデータを取得するために、前記非サービングセクタのプリアンブルを復調する、請求項３８に記載の装置。
【請求項４６】
前記特定のタイプのＢＳに対するハンドオフを実行するハンドオフモジュールをさらに備え、前記データプロセッサは、少なくとも部分的にそのようなＢＳと通信するために前記リソースのセットを使用する、請求項３８に記載の装置。
【請求項４７】
前記データプロセッサは、
前記リソースのセットを明示的に指定する、前記システムデータに含められたビットマップ、または
前記リソースを暗示的に識別する、前記システムデータに含められた、そのようなリソースの数、
の少なくともと一方から前記リソースのセットを識別する、請求項３８に記載の装置。
【請求項４８】
ワイヤレス通信を可能にするための装置であって、
ワイヤレスアクセスネットワーク（ＡＮ）の非サービングセクタからワイヤレス信号を取得するための手段、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンするための手段、及び
前記システムデータから基地局（ＢＳ）の特定のタイプのために確保された前記ワイヤレス信号内のリソースのセットを識別する情報を抽出するための手段、ここにおいて、前記確保されたリソースのセットを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信したＢＳのタイプを識別し、
前記確保されたリソースは、低減された電力でブランキングされる、または、送信される、
を備える装置。
【請求項４９】
ワイヤレス通信を可能にするように構成された少なくとも１つのプロセッサであって、
ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得するように構成された第１のモジュール、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンするように構成された第２のモジュール、及び
前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識別する情報を抽出するように構成された第３のモジュール、ここにおいて、前記確保されたリソースのセットを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信したＢＳのタイプを識別し、
前記確保されたリソースは、低減された電力でブランキングされる、または、送信される、
を備える少なくとも１つのプロセッサ。
【請求項５０】
ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得することをコンピュータに行わせるためのコードの第１のセット、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンすることをコンピュータに行わせるためのコードの第２のセット、及び
前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識

別する情報を抽出することを前記コンピュータに行わせるためのコードの第３のセット、を備えるコンピュータ可読媒体、ここにおいて、前記確保されたリソースのセットを識別する前記情報は、前記ワイヤレス信号を送信したＢＳのタイプを識別し、
　前記確保されたリソースは、低減された電力でブランキングされる、または、送信される、
を備えるコンピュータプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９２】
　以上の説明は、請求する主題の態様の例を含む。もちろん、請求する主題について説明する目的でコンポーネントまたは方法のあらゆる考えられる組合せについて説明することは不可能であるが、開示した主題の多数のさらなる組合せおよび置換が可能であることを、当業者なら認識できよう。したがって、開示した主題は、添付の特許請求の範囲の趣旨および範囲内に入るすべてのそのような改変形態、変更形態および変形形態を包含するものとする。さらに、「含む（include）」、「有する（has）」、「有する（having）」という用語は、そのような用語が、発明を実施するための形態または特許請求の範囲のいずれかで使用される限り、「備える（comprising）」という用語は使用すると請求項における移行語と解釈されるので、「備える（comprising）」と同様に包括的なものとする。
　以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。
［Ｃ１］　ワイヤレス通信の方法であって、
　ワイヤレス信号を送信している基地局（ＢＳ）以外のＢＳのため確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立すること、及び
　前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信すること、を備える方法。
［Ｃ２］　前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキングする、または、送信することをさらに備える、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ３］　前記送信しているＢＳとは異なるアクセスタイプ、送信電力、または再使用タイプのＢＳのために前記信号リソースを受信することをさらに備える、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ４］　前記確保されたリソースを明示的に識別するビットマップを前記ワイヤレス信号に含めることをさらに備える、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ５］　前記含められた情報は、前記確保されたリソースが備えられるタイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドの数を備え、ここで、前記数は、前記タイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドを暗示的に識別する、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ６］　前記確保されたリソースを前記ワイヤレス信号のプリアンブルの部分としてスケジュールすることをさらに備える、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ７］　前記送信しているＢＳによって使用可能な前記ワイヤレス信号のインターレース上に前記プリアンブルをスケジュールすることをさらに備える、Ｃ６に記載の方法。
［Ｃ８］　前記使用可能なインターレースのその後の時間フレーム上に前記プリアンブルに関連するその後のハイブリッド自動繰り返し要求（ＨＡＲＱ）送信をスケジュールすることをさらに備える、Ｃ７に記載の方法。
［Ｃ９］　前記使用可能なインターレースの２つの時間フレームをグループ化することをさらに備え、ここで、前記グループ化されたフレームのための指定（assignment）データまたは承認（acknowledgement）データをスケジュールするために、リソースの共通のセットが利用される、Ｃ７に記載の方法。
［Ｃ１０］　前記送信しているＢＳの別個のタイプを識別すること、または

少なくとも前記送信しているＢＳに最も近いマクロＢＳの捕捉領域内で一意である、前記送信しているＢＳの別個のセクタＩＤを識別すること、の少なくとも一方を行う情報を前記プリアンブル内に含めることをさらに備える、Ｃ６に記載の方法。
［Ｃ１１］　前記プリアンブルの送信において低リソース再使用を用いることをさらに備える、Ｃ６に記載の方法。
［Ｃ１２］　ワイヤレス通信のための装置であって、
ワイヤレス信号を送信しているＢＳ以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立する通信プロセッサ、
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤリス信号上に送信するメッセージ構造モジュール、及び
前記通信プロセッサに結合されたメモリ、
を備える装置。
［Ｃ１３］　前記送信しているＢＳは、前記確保されたリソース上に低減された電力でブランキングする、または、送信する、Ｃ１２に記載の装置。
［Ｃ１４］　前記リソースが確保される前記ＢＳは、前記送信しているＢＳとは異なるアクセスタイプ、送信電力、または再使用タイプである、Ｃ１２に記載の装置。
［Ｃ１５］　前記メッセージ構造モジュールは、前記ワイヤレス信号の前記確保されたリソースを明示的に識別するビットマップを前記ワイヤレス信号に含めるＣ１２に記載の装置。
［Ｃ１６］　前記メッセージ構造モジュールは、前記確保されたリソースが備えられるタイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドの数を前記プリアンブル内で示し、ここで、前記数は、前記タイムスロット、インターレース、または周波数サブバンドを暗示的に識別する、Ｃ１２に記載の装置。
［Ｃ１７］　前記メッセージ構造モジュールは、前記確保されたリソースを識別するデータを前記ワイヤレス信号のプリアンブルの部分としてスケジュールする、Ｃ１２に記載の装置。
［Ｃ１８］　前記メッセージ構造モジュールは、前記送信しているＢＳによって使用可能な前記ワイヤレス信号のインターレース上に前記プリアンブルをスケジュールする、Ｃ１７に記載の装置。
［Ｃ１９］　前記メッセージ構造モジュールは、前記使用可能なインターレースのその後の時間フレーム上に前記プリアンブルに関連するその後のＨＡＲＱ送信をスケジュールする、Ｃ１７に記載の装置。
［Ｃ２０］　前記メッセージ構造モジュールは、前記使用可能なインターレースの２つの時間フレームをグループ化し、ここで、前記グループ化されたフレームのための指定データまたは承認データをスケジュールするために、リソースの共通のセットが利用される、Ｃ１７に記載の装置。
［Ｃ２１］　前記メッセージ構造モジュールは、
　前記送信しているＢＳの別個のタイプを識別すること、または
　少なくとも前記送信しているＢＳに最も近いマクロＢＳの捕捉領域内で一意である、前記送信しているＢＳの別個のセクタＩＤを識別すること、の少なくとも一方を行う情報を前記プリアンブル内に含める、Ｃ１７に記載の装置。
［Ｃ２２］　前記メッセージ構造モジュールは、低リソース再使用を用いて前記プリアンブルを送信する、Ｃ１７に記載の装置。
［Ｃ２３］　ワイヤレス通信のための装置であって、
ワイヤレス信号を送信しているＢＳ以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立するための手段、及び
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信するための手段、を備える装置。
［Ｃ２４］　ワイヤレス通信用に構成された少なくとも１つのプロセッサであって、
ワイヤレス信号を送信しているＢＳ以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信

号のリソースを確立するように構成された第１のモジュール、及び
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信するように構成された第２のモジュール、を備える少なくとも１つのプロセッサ。
［Ｃ２５］　ワイヤレス信号を送信しているＢＳ以外のＢＳのために確保された、前記ワイヤレス信号のリソースを確立することをコンピュータに行わせるためのコードの第１のセット、及び
前記ワイヤレス信号内の前記確保されたリソースを識別する情報を前記ワイヤレス信号上に送信することをコンピュータに行わせるためのコードの第２のセット、を備えるコンピュータ可読媒体、を備えるコンピュータプログラム製品。
［Ｃ２６］　ワイヤレス通信を可能にするための方法であって、
ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得すること、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンすること、及び
前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識別する情報を抽出すること、を備える方法。
［Ｃ２７］　ＢＳの前記特定のタイプは、
特定のアクセスタイプ、
特定の再使用タイプ、または
特定の送信電力、
の少なくとも一つである、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ２８］　前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを決定し、そのＢＳタイプと前記ＢＳの特定のタイプとを比較することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ２９］　ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳのタイプと合う場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを分析すること、または
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳのタイプと合わない場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを無視すること、の少なくとも一方をさらに備える、Ｃ２８に記載の方法。
［Ｃ３０］　第１のＢＳによって送信された前記確保されたリソースのセットを第２のＢＳへ報告することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３１］　前記確保されたリソースのセット上のチャネル品質を計算し、ＢＳへ前記チャネル品質を報告することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３２］　前記非サービングセクタから著しい干渉を受ける第２のセクタによって送信されたデータを復調するために、前記確保されたリソースのセットを使用することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３３］　前記情報を抽出することは、前記非サービングセクタのプリアンブルを復調することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３４］　前記情報を抽出することは、低再使用システムデータまたは前記非サービングセクタの低再使用プリアンブルを復調することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３５］　前記特定のタイプのＢＳに対してハンドオフすること、及び、少なくとも部分的にそのようなＢＳと通信するために前記リソースのセットを使用することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３６］　前記リソースのセットを識別することは、
前記リソースのセットを明示的に指定するビットマップを前記ワイヤレス信号から抽出すること、または
前記リソースを暗示的に識別する、そのようなリソースの数を前記ワイヤレス信号から取得すること、の少なくともと一方をさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３７］　隣接するセクタへのハンドオフ、または、隣接セクタとの干渉回避を可能にするためのものであって、前記非サービングセクタに最も近いマクロセルの捕捉領域内で一意である、前記セクタの別個のＩＤ、または、

前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳの別個のタイプ、
の少なくとも一方を前記ワイヤレス信号から抽出することをさらに備える、Ｃ２６に記載の方法。
［Ｃ３８］　ワイヤレス通信を可能にするための装置であって、
ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得する受信機と、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンし、前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識別する情報を抽出するデータプロセッサと、を備える装置。
［Ｃ３９］　ＢＳの前記特定のタイプは、
特定のアクセスタイプ、
特定の再使用タイプ、または
特定の送信電力、
の少なくとも一つである、Ｃ３７に記載の装置。
［Ｃ４０］　前記データプロセッサは、前記ワイヤレス信号を送信しているＢＳのタイプを決定し、そのＢＳタイプと前記ＢＳの特定のタイプとを比較する、Ｃ３８に記載の装置。
［Ｃ４１］　前記データプロセッサは、
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳのタイプと合う場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを分析し、または
ＢＳの前記特定のタイプが前記送信しているＢＳのタイプと合わない場合には、前記リソースのセットで送信されたデータを無視する、ことの少なくとも一方を行う、Ｃ４０に記載の装置。
［Ｃ４２］　前記受信機は、前記非サービングセクタから著しい干渉を受ける第２のセクタによって送信されたデータを復調するために、前記確保されたリソースのセットを使用する、Ｃ３８に記載の装置。
［Ｃ４３］　前記データプロセッサは、前記システムデータを取得するために、前記非サービングセクタのプリアンブルを復調する、Ｃ３８に記載の装置。
［Ｃ４４］　前記データプロセッサは、前記情報を抽出するために低再使用システムデータを、または、前記情報を抽出するために低再使用プリアンブルを、復調する、Ｃ３８に記載の装置。
［Ｃ４５］　前記干渉の程度に基づいて前記非サービングセクタとの干渉回避を起こす品質モジュールをさらに備える、Ｃ４２に記載の装置。
［Ｃ４６］　前記特定のタイプのＢＳに対するハンドオフを実行するハンドオフモジュールをさらに備え、前記データプロセッサは、少なくとも部分的にそのようなＢＳと通信するために前記リソースのセットを使用する、Ｃ３８に記載の装置。
［Ｃ４７］　前記データプロセッサは、
前記リソースのセットを明示的に指定する、前記システムデータに含められたビットマップ、または
前記リソースを暗示的に識別する、前記システムデータに含められた、そのようなリソースの数、の少なくともと一方から前記リソースのセットを識別する、Ｃ３８に記載の装置。
［Ｃ４８］　ワイヤレス通信を可能にするための装置であって、
ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得するための手段、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンするための手段、及び
前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識別する情報を抽出するための手段、を備える装置。
［Ｃ４９］　ワイヤレス通信を可能にするように構成された少なくとも１つのプロセッサであって、
ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得するように構成された

第１のモジュール、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンするように構成された第２のモジュール、及び
前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識別する情報を抽出するように構成された第３のモジュール、を備える少なくとも１つのプロセッサ。
［Ｃ５０］　ワイヤレスＡＮの非サービングセクタからワイヤレス信号を取得することをコンピュータに行わせるためのコードの第１のセット、
システムデータについて前記ワイヤレス信号の１つまたは複数の部分をスキャンすることをコンピュータに行わせるためのコードの第２のセット、及び
前記システムデータからＢＳの特定のタイプのために確保されたリソースのセットを識別する情報を抽出することをコンピュータに行わせるためのコードの第３のセット、を備えるコンピュータ可読媒体、を備えるコンピュータプログラム製品。